

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 30 年度 第 4 回 所沢市環境審議会
開催日時	平成 31 年 1 月 17 日(木) 10:00～11:15
開催場所	所沢市市庁舎高層棟 6 階 604 会議室
出席者の氏名	田中 充、毛利 吉成、秋元 智子、足立 圭子、天野 正博 渋谷 正則、金子 亮、長谷川 陽子、坂根 裕子、上田マリノ
欠席者の氏名	内田 勉、高柳 正行、佐々木 渉、藤田 由紀枝、栗須 菊香
議題	1 開 会 2 議 事 （1）「マチごとエコタウン推進計画（第 3 期所沢市環境基本計画）」 答申書について 3 答 申 4 閉 会
会議資料	次第 ・資料 1 平成 30 年度第 3 回環境審議会後の修正点 ・答申（鑑） ・答申（別紙 1）所沢市マチごとエコタウン推進計画（第 3 期所沢市 環境基本計画）（案） ・答申（別紙 2）所沢市マチごとエコタウン推進計画 重点実施計画（案） ・【参考】所沢市のプラスチックごみ削減に向けた取組み ・【参考】所沢記者クラブへの報道提供資料 ・【参考】ところざわ通信
担当部課名	環境クリーン部 部 長 廣川 澄芳 環境クリーン部 次 長 一井 里映 環境政策課 課 長 大館 真哉 主 幹 安藤 善雄 主 査 並木 美佐子 主 査 三浦 直子 主 事 溝越 弘倫 みどり自然課 課 長 奥村 稔 資源循環推進課 課 長 池田 淳  環境クリーン部環境政策課 電話 04-2998-9133

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>環境政策課 主幹</p>	<p style="text-align: center;">＜開会＞</p> <p>あいさつ 出席者が全委員の過半数に達しているため、審議会規定により会議の成立を確認。 傍聴者はなし。</p> <p>【議題1「マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」答申書について】</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、議題の1番目「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）答申書について」に関して事務局より説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">＜資料1に基づき説明＞</p>
<p>会 長</p>	<p>文言の修正と表現の追加があった。この点について、特にご質問等がなければ、お手元に答申書があるので確認いただきたい。答申書案は事務局と私で調整をさせていただきこのような形となった。内容は事務局より読み上げる形で紹介いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">＜答申（鑑）の読み上げ＞</p>
<p>会 長</p>	<p>このような趣旨で、本日市長に答申をしたい。1枚目が答申書本文となり、その後ろに基本計画案と重点実施計画案を付けて提出する形となる。お気づきの点があれば答申書についてでも、計画冊子についてでもご意見をいただきたい。</p> <p>先ほどの事務局の説明では計画書本編の冊子には最終的には巻末に審議会の名簿や審議経過や用語解説等も付属される予定であるということである。</p> <p>ここまで審議が来たので、おおよそ皆さんにはご確認いただいた内容かと思う。それでは、市長が10時30分に到着される予定であるので、この後の流れについて事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>環境政策課 主幹</p>	<p style="text-align: center;">＜この後の流れについて説明＞</p>
<p>会 長</p>	<p>進め方については、今ご説明いただいた通りである。市長に答申した後、皆さんに一言ずつコメントや感想をいただきたい。市長がいる前でお伝えしておきたいことがあれば、ぜひご発言いただきたい。</p> <p>時間があるので、参考資料も確認しておきたい。非常に良いニ</p>

事務局	<p>ユースで、所沢市が全国のSDGs持続可能性先進度調査の環境部門の中で1位になったという内容である。この内容について事務局からご紹介いただきたい。</p> <p style="text-align: center;">＜参考資料について説明＞</p>
会長	<p>参考資料について質問はあるか。</p> <p>プラスチックごみについては職員向けにメッセージを発信していくということであるが、プラスチックごみの削減を市民に呼びかけるものはないのか。</p>
環境クリーン部次長	<p>現時点ではお配りした資料がホームページに掲載されているのみである。市民の皆様への周知ということであれば、広報誌やホームページでアピールをしたり、事業者、子どもたちとの連携も考えられる。産業経済部で行っている「とことこ市」でアピールするなど、地道な取り組みであるが進めていければと考えているところである。</p>
副会長	<p>先日、環境推進員連絡協議会の理事会に出席したが、その際に部長から、プラスチックごみの削減について、市長が宣言したというご紹介があった。それを受けて理事会では、プラスチック問題については食物連鎖で命に関わる問題であるということ、各地区の推進員を中心にしながら啓発運動をしていくという議論をした。そういうこともあり、このプラスチックごみの問題の状況は非常に深刻に受け止めている。</p>
委員	<p>市民に広報するのに大事なのは、所沢市が変わったと伝えることであると考えます。所沢市も変わっているので皆さんも一緒にやりましょうということが必要ではないか。</p> <p>審議会では今までペットボトルが配られていたが、最近ではお茶をいれてくださり、ペットボトルではなくなっている。市役所としては、審議会等ではペットボトルではなくお茶を出していますと、お茶の写真を添えて広報し、市民の皆さんも少しずつ舵を変えましょうと伝えることが大切である。</p> <p>いつも所沢市は何もやっていないのではないかと市民の皆さんからは見られてしまうが、所沢市はすごいと私は感じている。だが、アピールがうまくないので、市も頑張っているというこのような事例と、今回、日経グローバルで1位になったのは主にエネルギーの方であったが、みどりに関しても埼玉県内で1番であることを自負して宣伝をしていただきたいと思う。</p>
副会長	<p>プラスチックごみの問題は市民レベルでは関心が高い問題である。環境推進員連絡協議会では推進員と仕事を進めているが、</p>

	<p>宣言がされる前から会議ではペットボトルの配布はしなくて良い。もし飲むなら各自で持参をしようということになっていた。そのような雰囲気、市の宣言についても市民の皆さんに知ってもらおう場面を今後作っていかうという動きをしている。</p> <p>それから、先日、おおたかの森の新聞記事を拝見した。地道な活動をされており、非常に大きく取り上げられ、励みになる活動であると思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>市のほうではペットボトルも基本的に控えるという方針か。それともワンウェイのプラスチックを控えるということか。</p>
<p>環境クリーン部 次長</p>	<p>ワンウェイの中にペットボトルも含まれている。他にリユースできないという意味でワンウェイという言葉を使っているため、一度使えばそのまま捨ててしまうということが前提である。ペットボトルも繰り返し使う方もいるがそれは例外として、基本的に使い捨てとして使用されているものをできるだけ減らしていくということである。</p> <p>海ごみのことだけ考えると適正に処理をすれば海に流れることはないが、世界的な問題として、これまで日本で使われてきたプラスチックごみの半分は海外に輸出をして処理をされていることがある。中国が主であったがその中国が輸入規制をしたということで、国内でゴミがたまり、それをどうするのかという状況である。そもそもゴミを減らしていく、またプラスチックは、製造に石油を使い、燃やすと二酸化炭素も排出するので、できるだけそういうものは使わないようにしていく動きを国全体で進めていくという流れのなかで、所沢市としてもできることを始めていくということである。</p>
<p>会 長</p>	<p>ペットボトルは容器リサイクルの中では優等生で、回収率90%、リサイクル率も85%ほどと記憶している。アルミ缶やスチール缶もかなり高い。ただ問題は日本ではペットボトルからペットボトルへのリサイクルにはならないところである。そのようなリユースの方法もあるがなかなかそうはならない。</p> <p>例えばドイツであればペットボトルを丈夫なものにしてリターナブルにしている。そのようなやり方もある。本来はリターナブルにして総量を増やさないことが一番良いかと思うが、ペットボトルを含めたプラスチック全体の問題であるので、総量を規制していき、石油に頼ってきたものを軽減していくという方向転換はよく理解できる。</p> <p>それからもう一点、日経グローバルに掲載されたのは事前に何か調査があったのか。</p>
<p>環境政策課 課長</p>	<p>アンケートがありそれに回答する調査はあった。それほど詳しく</p>

<p>環境クリーン部 次長</p>	<p>い調査内容ではなかった記憶である。</p> <p>冊子を見ると、例えば電気自動車に対しての補助金があるか、大気汚染の測定局があるか、グリーン購入をしているか、というようにいくつかの項目があり、その取り組みを実施しているか否かで点数化し、点数順に並べたときに所沢市が1位であったということである。調査側が決めた基準に則って調査項目について当てはまるかどうかという判断である。</p>
<p>環境政策課 課長</p>	<p>主に評価項目はエネルギーと環境という2つになっており、エネルギー部門では省エネ・創エネなど市民の方々が使え補助金制度が充実しているかといった内容、環境部門では例えば下水道普及率等のまちづくり全体のような指標も若干入っている。内容としては、市全体としての環境施策が認められたということで理解をしている。</p> <p style="text-align: center;">(市長入室)</p> <p><b>【答申】</b></p>
<p>会 長</p>	<p>それでは市長が到着したので答申に移りたいと思う。事務局に進行をお願いしたい。</p>
<p>環境政策課 主幹</p>	<p>それではこれより答申のご提出をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">&lt;会長が答申書を読み上げ、市長に手渡し&gt;</p>
<p>環境政策課 主幹</p>	<p>ありがとうございました。 次に、市長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>市 長</p>	<p style="text-align: center;">&lt;市長あいさつ&gt;</p>
<p>環境政策課 主幹</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>
<p>会 長</p>	<p>市長にはもう少しお時間を頂けるということで、各委員より、一人2分以内で、2年間審議して頂いたことについての、ご意見・ご感想をいただきたい。それでは、まずは毛利副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>東日本大震災で、日本中の人々が受けたあの強烈な印象を忘れてはいけないという思いで、どのようにこの思いを、また市長の思いを、所沢市の行政の思いを形にして市民の皆様へ伝えるのかということを考えてきた。そんな自覚をもって携わらせていただ</p>

<p>委員</p>	<p>いた。皆様からいろんなご意見をいただいたと御礼申し上げます。職員の皆様からも色んな斬新な話をいただき、目からうろこの場面もたくさんあった。委員の皆様ありがとうございました。</p> <p>私は中学校の理科の教員を10年以上しており、子どもたちには地球的規模で考えて足元から行動する「Think Globally Act Locally」を伝えてきて、自分の理科の授業では、それをロゴマークのように使ってきた。</p> <p>理科の勉強の中には身の回りの環境に関係することがたくさんあり、考えることがたくさんある。今は小学校の校長をしているが、やはり生活の中で環境のことを考えることはとても多い。</p> <p>この場でも何度も発言しているが、牛乳パックのリサイクルをきちんとしている子どもがいるが、「それは何のためにやっているの。」と尋ねても「先生に言われたから。」という答えが返ってくるので、なぜするのかということ子どもたちには伝えていく必要があり、また他人事ではいけないと思う。</p> <p>ごみの分別も牛乳パックのリサイクルでも何でも自分のこととして考えることが大事で、それを私たちが伝えていかななくてはならない。ごみ処理場をつくるのは嫌だというけれど、ここにあるごみはどうするのかということ、自分で考えて自分で行動できる子にならなくてはいけないと思い、いつも行動しており、今もしているつもりである。私自身やれることは小さいが、それがきっと次につながると思っている。今回、色々な勉強をさせていただき、これから子どもたちに色々なことを伝えることができるため、ありがたい機会をいただいたと思っている。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>消費生活アドバイザーの資格を取ってから18年ほど消費者団体に所属して環境学習をしてきた。学校もそうだが一般の方向けにも行っており、そういうところでは生の声を色々ぶつけてもらうこともあった。</p> <p>この計画は非常にきれいな言葉で書いてあるが、実際に生活していると色々ぶつかることがある。例えば先ほど使い捨てということがあったが、フルタイムで働いているお母さんと、簡単で便利なことイコール地球に悪いこともあるわけで、でも使い捨てるほうが楽なこともある。時間がない中でどうするかということや、ペットボトルのほうが軽くてマイボトルより楽なのでいいとか、その楽しさと環境に良いということとのせめぎあいが、今後ライフスタイルを考えたときにあるかと思う。絵に描いた餅に終わってはいけないので、そういうところの議論もあるかと思う。</p> <p>一般の高齢の方とお話ししたときに、「無駄な物を買わないでごみを減らしましょう。」という通り一遍の話をすると、「政府がどンドン物を買えというじゃないか。」と反論されることもあつ</p>

<p>委員</p>	<p>た。実際の生活とこの計画のような行動をどのようにリンクさせていくかということが次の課題という気がしている。 色々勉強させていただきありがとうございました。</p> <p>マチエコ大使をしている。普段は環境ナビゲーターとして活動しており、同世代の人たちや学生さんにエコのことを伝える活動をしている。所沢にずっと住んでいて、環境施策がどう決まってくるのかを知らなかったのが、このように施策や計画が決まってくる現場にいられたことをうれしく思っている。大変勉強になった。</p> <p>また仕事上、近隣の自治体の環境分野を担当する課の方々と情報交換をする機会がたくさんあるが、やはり学生、20代、30代、若いファミリーにどのように環境のことを伝えて実践してもらおうかということ悩んでいる方が多い。私自身悩みながらの部分もあるが、これからは試行錯誤をしながら所沢市の中で活動していきたいと思う。</p> <p>また今回は環境教育に力を入れていくということも書かれているが、2歳の母親としても「子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢」という文章にもある通り、自分の娘がこの内容が反映されていく対象になるのではないかと思っている。実際に今描いている将来像ができていくのかということ、娘を通して10年見ていきたいと思う。今回は貴重な機会をいただきありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>普段食の仕事をしているので、環境と食というのは切っても切れない関係だということ今回参加して実感した。環境の面からというより食の面から少しコメントしたいと思う。皆さん3食食べると思うが、その中に少し環境に良いものであったり、子どもたちにつないでいきたいものを提供できたりするとより良いと思った。キーワードとなったのは「持続可能な環境」ということでそれに関しては、環境も食も同じであり、リンクすることであると思っている。子どもたちには感謝できるような食を3食食べていただくことがとても大事であるということから、色々調べてもらえば良いのではないかということ考えた。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>私が一番衝撃を受けたのは、所沢市が始めた新電力会社である。こういう発想があったのかということ衝撃を受けた。これを提案して実践することは普通できない。それが現実にも動き出したということで、そうなる新しい電力の仕組みの中に入れていただきたいのが、剪定枝と生ごみのバイオマス発電である。学校でも家庭でも切った木の枝や幹はすごく多い。 所沢市は周囲の市町村よりもまちの中に緑が多いので手入れ</p>

	<p>をすれば剪定枝は出てくる。これを新電力会社の目玉としてやっていただきたい。埼玉県の中では、まだ剪定枝のバイオマス発電はないが、府中市では始まっている。</p> <p>所沢市は、全国で環境分野で1番になったが、緑地保全についても埼玉県の中では1番であると自負している。また新電力という柔らかい発想を持っているトップがいることも1番であると思っているので、まずは所沢市から始めていただきたい。</p> <p>先ほど市長の話にもあった環境活動を実践している人という意味では、もしかすると私は絶滅危惧種かもしれない。実践していることを、はやく子どもたちに継承したいので、色々な面で今回の環境審議会はとても参考になった。ありがとうございました。</p> <p>委員</p> <p>計画はどこの市町村も素晴らしいが、それが絵に描いた餅にならないように実行に結び付けていただきたいと思う。</p> <p>今回はSDGsとの関係ということで、自治体として安全・安心なまちをつくる中で、このSDGsの視点は非常に重要だと思う。それをいち早く取り入れられたということは非常に素晴らしいことだと思っている。私は温暖化防止活動をしているので、今の気候変動や異常気象を考えると、本当に安全・安心なまちをつかっていただきたいと思う。</p> <p>計画の中にもあるように、レジリエンスなまち、強靱性を持ったまちが今度重要になってくると思う。ハードもソフトもあるので両面が進んでいかないとうまくいかないと思う。今回は教育ということも入れてあるので、ぜひ所沢市の生涯学習に力を入れていただくと良いかと思う。そして市民・事業者等多くの方を巻き込んで実行していただくことが望ましいことかと思う。どうもありがとうございました。</p>
	<p>委員</p> <p>この審議会には今年度から参加させていただいた。近隣の市町村でもいくつか審議会の委員をさせていただいているが、どの環境審議会も熱心に議論をしている。その中でも所沢市の審議会が一番活発で一番熱心であると感じた。この計画もSDGsの考え方をいち早く取り入れたというところにおいても先進的な内容になっていると感じた。日経グローバルで所沢市が環境部門で1位になるのも当然かと思う。埼玉県としても大変うれしく誇らしく思っている。皆様方、環境審議会委員として活動いただきありがとうございました。</p>
	<p>委員</p> <p>私は今まで国レベルの目標や施策に関係してきたが、今回は現場との接点が見えて非常に勉強になった。今回の計画はすでに色々と意見が出ているが、SDGsについて盛り込んだということが非常に印象的である。おそらく、これまでダイオキシンから地</p>



<p style="text-align: center;">会 長</p>	<p>球温暖化、SDGs に変わりつつあると思うが、本来 SDGs は環境分野ではなく市全体の総合計画で議論すべき事項である。国でも内閣府がやるものだと思っていたが、結果的に環境省になっている。</p> <p>ぜひ次はトップダウンで市全体の取り組みにしてほしい。それが答申書の意味であると思う。今回、答申書の中で SDGs ということが明記され、最後には総合的な観点から環境行政を行うと書かせていただいている。次の基本計画は、おそらくこの視点からつくられると思っている。本来の持続可能という意味は、所沢市のおそらく 20 年 30 年先のことを考える計画を作ることなので、ぜひ所沢市全体の計画の中に SDGs を組み込んでいただければと思う。ありがとうございます。</p> <p>私も所沢市に関わらせていただいて何年か経つが、今回の計画は大変いいものができたと思ひそかに自負している。これはもちろん審議会委員のお力のみならず、行政の皆様が大変熱心で、かつ精力的で、非常に高い水準で取り組んでいただいたこともあと理解している。</p> <p>私もいくつかの自治体で委員を引き受けているが、それぞれの自治体のカラーがある。所沢市は市の職員が努力をして非常にまじめで、その上には市長のリーダーシップがあり、さらに市民の厳しい目がある。市民の皆さんの高い要求水準に応えつつ施策を遂行していく。このような構造があるのかと理解している。そういう点では環境基本計画と重点実施計画の 2 つの計画を取りまとめさせていただいたが、ひとえに行政の皆様の方であるということアピールすることが大事かなと思う。</p> <p>2 つ目は、SDGs のことが先ほど委員からあったが、私もそれについては同じ感想を持つ。SDGs というのは総合的な概念で、もちろん環境分野でやるべきことはたくさんあるが、同時に社会、経済、福祉、教育の分野等、地域全体で取り組んでいくことが必要である。そういう方向へ導くことが、長い計画の中で地球の持続性を高めていくということである。つまり地域から地球へつながっていくというベクトルの中で SDGs を位置づけていくことが必要で、したがって分野というのは環境分野に限らない。当然そういうことはお考えになられているかと思う。</p> <p>今回、日経グローバルで所沢市が環境分野で 1 位になったという大変喜ばしいニュースをいただいたので、これを励みに、ぜひ今回の計画を基に環境政策を推進し、さらに市全体の取り組みを進めていただいて、市民にとって住みやすい、そして誇れる所沢市にさせていただきたい。今回の計画がその一助になれば幸いです。ありがとうございます。</p> <p style="text-align: center;">＜市長コメント＞</p>
<p style="text-align: center;">市 長</p>	

<p>環境政策課 主幹</p>	<p>委員の皆様ありがとうございました。 市長につきましては、所用がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(市長退席)</p>
<p style="text-align: center;">会 長</p>	<p>ここまでの審議会となる。それでは、ただいまをもって、答申及び審議を終了させていただく。委員の皆様におかれては、公私共にお忙しい中、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しする。</p>
<p>環境政策課 主幹</p> <p>環境クリーン部 部長</p>	<p>ありがとうございました。 最後に、環境クリーン部部長より、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">＜環境クリーン部部長の挨拶＞</p> <p style="text-align: center;">【閉会】</p>